

うさぎとかめ通信

上越市立高田幼稚園

(週刊：園長室だより) 106周年

令和4年6月9日

第151号

「思い→体験→表現」は、幼児・児童・生徒に一貫する、遊び・学びの基本です。

【速報：6/1 ハサミムシの飼育箱で、卵から幼虫が孵化しました。たくさんいます。】

【速報：6/2 飼育しているダンゴムシから幼虫が生まれました。白くて極小です。】

子どもの姿から

【大町市で小学生と交流しました】→

どろんこ遊びが広がっています。

保護者の皆様にはお洗濯等で大変お世話になっています。子どもたちは砂場で、とにかく砂を掘っています。大きな穴ができたり、コガネムシの幼虫を見つけたりしています。幼虫の名前を調べると、飼育方法を考え、飼育箱を抱えて園庭で素材集めに入ります。こちらでは、砂を使ったジュースやスープなどを容器に盛り付けています。旬の桜の実を入れて、見た目もきれいです。あちらではプラスチック製の桶をつないで水を流しています。途中で水がもれたり草がつまったりしているため、相談しながら流れる距離を伸ばしています。そちらではつかまえた甲虫を職員に見せて、名前を聞いています。パソコンで画像検索すると、コメツキムシの成虫と分かり、幼虫の奇妙な姿にも興味を示しています。目の前では、花壇の土を掘って、ダンゴムシを探しています。大きさを比べたり、一斉に丸めたりして真剣に観察しています。遠くでは、職員が赤く色づいたクローバーの葉を見つけました。子どもたちが寄ってきましたがあまり乗り気ではなく、ちょっと残念そうな表情の職員です。

今年もカメさんシャワーが水をまき、子どもたちが涼んでいます。いろいろなことがどろんこ遊びの中で、行われています。



園庭・園舎から

【ピタゴラ装置、ますます進化中】→

5月31日(火)、親子歯科指導がありました。

まつ組の皆さんと保護者の皆様が参加され、歯科衛生士さんが指導してくださいました。説明を聞いたり体験をしたりして、よい機会となりました。参加された皆さんの学ぶ姿が大変積極的であったと、歯科衛生士さんが喜ばれていました。3日(金)には、「よい歯の表彰」も行いました。歯磨きクイズをしたり「よく噛むとよいことがたくさんある」の話を聞いたりしました。大切な歯を守りましょう。



キーワード

【新築マンションに見学者あり】→

○幼稚園で育みたい資質・能力

実際の指導場面においては、「知識及び技能の基礎」「思考力、判断力、表現力等の基礎」「学びに向かう力、人間性等」を個別に取り出して指導するのではなく、遊びを通した総合的な指導の中で一体的に育むよう努めることが重要である。(中略)

小学校以降の教育は、各教科等の目標や内容を、資質・能力の観点から整理して示し、各教科等の指導のねらいを明確にしながら教育活動の充実を図っている。

一方、幼稚園教育では、遊びを展開する過程において、幼児は心身全体を働かせて活動するため、心身の様々な側面の発達にとって必要な経験が相互に関連し合い積み重ねられていく。つまり、幼児期は諸能力が個別に発達していくのではなく、相互に関連し合い、総合的に発達していくのである。(引用：文部科学省『幼稚園教育要領解説』フレーベル館・平成30年) ◆裏面にすこやかなくらし包括支援センターの文書があります。

